

Interview >>> 部長×顧問の先生

良い走りがまぐれではなくて、自分の実力になるようにしていきたい



部長 玉井優希(3年)

—— ヨット部に入ったきっかけは？

玉井: もともと魚が好きで水産高校に入って、せっかくだから海に関係した部活に入りたいと思っていました。この学校で海に関する部活はヨット部とカッター部なんですけど、仮入部でヨット部に行ったら楽しかったので、そのまま入部を決めました。

—— 玉井くんはどんな部長ですか？

大門: 艇庫の整理やヨットの整備など、誰よりも自分から考えて動いている子ですね。でもヨットの技術面では上達するのに時間がかかっています。最近、僕と2人でレースの練習をし始めてからはグッと伸びましたね。

—— ヨットの魅力は？

玉井: 最初は風に振り回されて怖いという想いもあったんですけど、最近は大門先生と競り合うような形で乗れるようになってきたので、さらにヨットの楽しさに気づくことができました。

大門: やっぱり最初はスピードの差が大きく、風を取り合っていることができなかったんですけど、最近では面白いレースができるようになってきましたね。ヨットって同じ風を

使ってレースをするので、最高速度は一緒なんです。だからそこからはいかに風を掴むかが勝敗に繋がってくるので、すごく面白いですね。

—— 部活動を通じて身に付いたことは？

玉井: 船が壊れたら自分で直さないといけないので、そういった部分で責任感が出てきました。自分で直さないと次の日は海に出られないので、昼休みなども使って修理をしています。

—— 部活動を通じて学んでほしいことは？

大門: やっぱり礼儀や挨拶などの基本的なことを、まずはしっかりとやってほしいと思っています。そこから先でヨットを楽しんでほしいです。ヨットは自然が相手になるので、やっぱり風が強い時とかは怖いんですけど、そういったところでは自然の力強さなども知ってほしいなと思います。

—— 今後の目標は？

玉井: 自分が走ったことのない海でも、しっかりと自分の走りができるようにしていきたいです。今日の練習でも良い走りができたので、それがまぐれではなくて自分の実力になるように練習を頑張っていきたいと思っています。



顧問 大門伸之

ヨットを通じて自然の力強さなども知ってほしい

Report >>> ヨット部に欠かせない3つのもの



同じ形でレースをするため、ボートはワンデザインで作られます。隠岐水産高校では、「レーザー」、「420」という2つの艇種を使用しています。



ヨットに欠かせないセール(帆)。1人乗りボートは1枚、2人乗りボートは2枚のセールがつけられており、この扱い方によってスピードが変わります。



ボートから転落した際に救助に行く救助艇。海での練習の際には必ず一緒に出艇しており、この船があることで安心して練習に取り組むことができます。

Message >>> ヨット部員が今伝えたいこと



芹沢悠也(2年)

クラスメイトへ

いつも僕の部活の話聞いてくれてありがとう！いつもクラスで一緒にいてくれて、毎回部活の話聞いてくれることが、息抜きになるし、すごく嬉しいです。これからもよろしく！



高谷波来(2年)

顧問の先生へ

一緒にヨットに乗って、ヨットの魅力や楽しさを教えていただきありがとうございます。私たちはたくさんの方々を支えられて部活ができています。みなさんと改めて実感しています。これからもよろしくお願いします。

VOL.32

島根県立隠岐水産高等学校

ヨット部

第32回目のSpotlightは島根県立隠岐水産高等学校の「ヨット部」です。セール(帆)に受ける風の力を動力としてヨットを走らせ、海面にあるコースで速さを競う競技、ヨット。大自然に囲まれた島根県の離島・隠岐の島の大海原で日々練習を行う、島根県唯一のヨット部を紹介します。



島根県立隠岐水産高等学校

ヨット部

【部員数】

1年生:9人、2年生:4人、3年生:1人 計:14人

【実績】

◇第9回 島根県高等学校ヨット総合選手権大会

420級 総合優勝

シングルハンダー級 総合優勝

Tera級 総合優勝

◇第53回 島根県高等学校ヨット選手権新人大会

男女420級 第1位

男子SR級 第1位

女子SR級 第1位

◇第10回 島根県高等学校ヨット総合選手権大会

420級 総合優勝

シングルハンダー級 第1位、第2位

Tera級 第1位、第2位、第3位

Activity >>> 隠岐の大自然の中で行われる練習風景



ヨットって？

セールで風を受けることを動力として、水上を滑走する速さ・技術を使う競技。セールと呼ばれる「帆」を使うことから、「セーリング」とも呼ばれています。種目によって1~2人でセールボートに乗って、海面に設置されたブイを回り、着順で順位が決まります。オリンピックでは、1896年にアテネで開催された第1回大会から開催されている、歴史あるスポーツです。



2人乗りのセールボート。セールが1枚の1人乗りボートに対し、2人乗りのボートはセールが2枚。追い風の時には、さらに1枚青いセールを出し、スピードを出します。



部長の玉井くんと顧問の大門先生で行われるレースの実践練習。風を取り合ったり、相手の軌道を遮ったりと、頭を使ったレースが展開されていきます。

